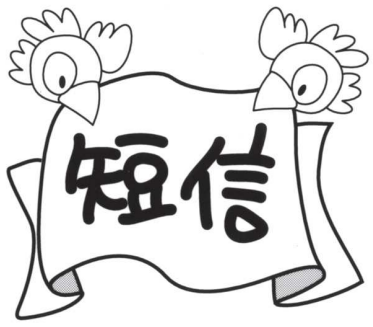

9/7 阪和産直センター 第8期定時株主総会
他産直役員1名の増員を提案・承認

第8期は、職員の突然の退職や病気による長期休養、ベテラン職員の退職があり、慢性的に人手不足でしたが、女性事務職員も配達に行くなどして職員全員の力で乗り切りました。少額ですが黒字にもなりました。が、売上、会員数はともに減少しました。

総会では、私自身が代表者として未熟なことや経験不足であるため、他産直からの役員1名の増員を提案し承認をいただきました。来期は株主の方々からの意見も踏まえ、会員拡大、売上増を優先課題とするとともに人材確保、人材育成、子どもの貧困、教育機会の均等などの問題に取り組んでいきたいと思います。

（沈 眞輔）

8/24 農業生産法人別院協同農場 第9期総会
組合員の生産を支えることに専念

お決まりの枕詞になりますが、高齢化する中山間地の農業を下支えし、ここ東別院でも増え続ける休耕地を何とかしようと、2009年に設立された農業生産法人㈱別院協同農場です。その後、地元の農家組織「丹波会」と合流し、野菜の集荷販売も担うようになりました。そのことによって財政基盤は安定しましたが、賃借した休耕地の耕作は農業経験の未熟さで失敗の連続でした。それでも40世帯余りの農家組合員にはさまざまな形で協力していただき、農業以外でもよつ葉や「つなぎの会」などのさまざまな活動に共同で取り組めるようになったことは成果だと思います。

しかし、ここ3年連続して赤字が続き、数町歩に膨れ上がった直営圃場は専従者3人ではとても管理し切れず、惨憺たる状態になってしまいました。今度の総会に至るまで、役員会ではズサンな圃場管理を見直すよう厳しい指摘がなされ議論になってきました。結果、直営圃場の大幅縮小、従業員の整理など思い切った改革を進めてきました。

残念ながら休耕地の対策は今後の課題とし、今期より直営圃場は一部残しすべてを返還することにしました。専従職員も横山さんから地元の前田さんに交替し、悪化した財政・経営を立て直し、まずは年々減少していく組合員の農業生産を支えることに傾注していく方針を今総会で採択しました。

（松永了二）

被災者・避難民置き去り…「復興」を謳う巨大プロジェクト

福島滞在記

この紙面に書くのも1年ぶりです。あれから私は、仕事の関係で、いわき市の寮から通勤したり、通行止めが解除になった道路を通って浜通り界隈をウロウロしたり―そんな生活を送っています。

これまで中通り方面で買い物などを済ませていました。しかし、生活圏が浜通りにシフトしたことで、震災・原発事故から「復興」しようとする町・人々の様子を目にしています。まず、何といっても目に見える形での町の再建が急ピッチで進んでいます。帰還困難区域の避難指示が解除され、道路の通行ができるようになり、小中学校が再開。稲作を再開した田んぼもあり、商業施設が新しくオープンし、除染廃棄物を詰めたフレコンバッグの山が徐々になくなっていく…。

通勤途上で、自宅に戻ってきた人の姿も見かけるようになってきました。しかし、震災や原発事故で多くの家屋が解体され、取り残されたように家々が並んでいる町並みを見る時、地域コミュニティを破壊した原発事故の深刻さを改めて思います。そんな自宅近辺を散歩している住民の姿を見ると、その心中に何を思うのか、何とも言えない気持ちになります。

▲「復興拠点」とするため再建工事が進むJR夜ノ森駅付近。いまだに帰還困難区域と避難指示解除区域が混在している。

それから、2020年・東京五輪で、野球・ソフトボール競技の一部を福島で開催することになりましたが、これなどは被災者置き去りの「復興」政策の象徴と言えます。住民を帰還させるための復興拠点づくりや、「イノベーションコースト構想」といった巨大なプロジェクトはどんどん進んでいきますが、それがどれだけ被災者・避難民のためになるのか。

…あっと、字数となってしまいました。この続きは、また。

（元創生社　一ノ瀬輝博）

いざという時、頼りになる仲間
―カミノ住設

今回の台風21号。57年前の第二室戸台風をしのぐ勢力で各地に大きな被害をもたらしました。自宅が大阪・岸和田にある我が家でも、猛烈な風にあおられ屋根瓦がかなり被害を受けました。台風の通過後、すぐに建築関係の友人に連絡して屋根屋さんもしくは大工さんの紹介をお願いしましたが、すぐには見つからず雨漏りが続きました。いろんな伝手を頼って連絡するも、既に手一杯と断られるばかり。万策尽き果て、途方にくれる3日間でした。

そんな苦境を救ってくれたのは、〝住まいる〟の友人・神野さん。神野さんは水回りのプロですが、建築現場のことも熟知している職人さんで、『雨漏りしてるんやったら大変やろ』と引き受けてくれたのです。「破損した瓦の除去とブルーシート掛け」をお願いしたのですが、実際は、割れた瓦をコーキング剤でくっつけたり散乱した棟の瓦を銅線で縛って補修するなど、まる1日かけて丁寧にこちらの希望以上の仕事をしていただきました。改めて、日頃の付き合いの大切さと〝住まいる〟メンバーのプロ意識に感謝した次第です。神野さん、本当にありがとうございました。

（ひこばえ　森和樹）

組合員仲間からのアドバイス
停電に備えて
―太田電気工業

台風21号の影響で、停電などの被害を受けた方々に心よりお見舞い申しあげます。

今回のような長時間の停電に対して、冷凍冷蔵庫設備、屋内照明（蛍光灯など）はどうしても大型発電機が必要で、業者に対応を依頼するしかありません。また、小型発電機を屋内配線につないで使用することは法律上禁止されており、技術的にも素人ではできません。分電盤を触れるのは電気工事士でなければなりません。

また、一般の発電機にパソコンなど電子機器、蛍光灯照明、通信機器（光ケーブルルーター）をつなげれば故障、破損の原因となります。したがってインバータータイプの小型発電機（0・9～2・0kVA）が必要です。これらの機器は分電盤ではなくてコンセントの部分で切り替えます。そのためにも日頃から、どの機器が最小限必要か、どの部分で切り替えたらよいか確認しておいた方がいいでしょう。容量の目安として、パソコン通信機器一組0・2kVA、サーバー0・3kVA、プリンター・複合機0・9kVAくらいで算定してください。

（第1種電気工事士　太田薫）

《共同利用・相互協力をつよめよう》　《買う人が売る人に、売る人が買う人に》　《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

安倍晋三の暴走を許すな!!
一緒に働きませんか
パートさん大募集!!
☎0771-27-3675

㈱安全食品流通センター・自然館

原発ゼロまで しつこく
へこたれず あきらめず
よつ葉ホームデリバリー　やさい村
0120 FreeDial (0120) 67-0473
新規会員募集中!
〈配達エリア〉神戸市、明石市、加古川市、高砂市、姫路市、三木市、小野市、三田市、加東市の一部（旧・社町、滝野町）、播磨町、稲美町、西脇市の一部

安倍さんよ　ええかげんやめときなはれ!

安保法制強行　原発再稼動推進
沖縄基地移転問題
ＴＰＰ加盟　経済最優先のアベノミクス
全部あわせてアベノミスです
㈲東大阪産地直送センター
〒578-0932　大阪府東大阪市玉串町東2-3-10
☎072-968-6601　FAX 072-968-6602